

No. 1134

企業 zoom up

富士陸送

変化する社会から必要とされ、一番愛される
顧客の革新的パートナーであり続ける

大手製パン会社からの受注による食品輸送と海上コンテナ輸送が主力事業の両輪で、70年の業歴を有する富士陸送(株)。80歳目前で勇退した前社長は、100%精一杯やれることをやる精神を徹底し、お客さまから信頼を得ていた。その信頼をどう承継し、会社を存続させていくか。2015年に社長に就任した山本由起子氏が目指すのは、「経営の近代化」「顧客との信頼強化と付加価値向上」「ビジネスモデルイノベーション」である。

「おじ(前社長)の仕事を手伝っていた程度の私に社長なんて務まるのか……自分も、まわりも不安しかなかったです」(山本社長)。まず取り組んだのは「経営の近代化」。事業所ごとにドライバーから管理職を選任し、社員と一丸となってゼロからのスタートの形をとった。働き方改革、中期経営計画の策定など、時流に合った経営体制に変革を進めた。

「顧客との信頼強化と付加価値向上」-顧客密着の営業所体制の確立、輸送以外のバリューチェーン工程業務の取り込みなど付加価値を付けたサービスを実践する。大手製パン会社とは長年の取引実績があり、培ってきた「当社だけが知りうるノウハウ」を活用し、プラスアルファの提案を続けている。お客さまが気付いていないニーズの掘り起こしも、当社の得意分野だという。

そして「ビジネスモデルイノベーション」。中小企業としては大きな挑戦、かつ革新的なコンテナラウンドユース/コンテナ内陸デポ事業が、2020年10月にスタートした。コンテナのマッチング輸送やコンテナ保管など高付加価値高回転率のビジネスを実現させる。つくばみらい市の、お客さま

大きな瞳の山本社長。しっかり相手
の目を見て会話をする姿勢が印象的だ



である大手農機総合メーカー工場真横に拠点を設置。本事業においては東京都立産業技術大学院大学と産学連携事業を行い、デジタル/I Tを活用したシステム装置の導入も含めて、東京都の革新的事業展開設備投資支援事業に採択認定されている。当社の第3の柱となる事業に成長することを見込む。

「物流業務の基本である安全第一と、運行管理の適正化も着実に進めています」(同)グローバルでデジタルな時代となるなか、お客さまに対しても、デジタル/I T化による物流需要の拡大や効率化、生産性向上について、具体的な提案を開始している。「変化する社会から必要とされ、一番愛される顧客の革新的パートナーであり続ける」が当社のビジョンであるが、全社員がビジョンを実現しようとしていると感じ取れることが、当社のパワーの源となっている。

(取材・文/東京支社情報部 米村 吟子)

会社概要

富士陸送(株)

T D B企業コード：982443343

法人番号：4010801010250

東京都大田区東糀谷4-3-15

電話：03-3744-3114

代表：山本 由起子氏

設立：1951年7月

資本金：1000万円

事業内容：パンなど食品貨物輸送、海上コンテナ輸送

年収入高：約12億2500万円(2020年9月期)

従業員：97名

<https://www.fujirikusou.co.jp/>